利尻島の近世記録

2024年7月現在

和暦	西暦	資料名（作者名）	各項記載内容											摘要
			管轄	島名・場所名	本泊	リイシリ権現（奥の院）	本泊頓宮	弁天社（厳島神社）	稲荷社	運上屋	アイヌ　＊表現は原本のママ	建物	産物など	
寛永・正保年間	1624-1648	松前蝦夷図	松前商場 ＊ショヤ（宗谷）：松前殿商場	ルイシンシマ									（大鳥真羽？＝オオワシの尾羽？） （油＝海獣か魚油？）	函館市中央図書館（デジタルアーカイヴ）
寛文10	1670	津軽一統志　巻第十之下		るいしん	―	―		―		商場	狄家、三百人程、大将むねやかいん・もんやかいん	―		
元禄9	1696	漂舟録（李志恒）		―	―	―		―		―	有	―	鯨の干肉	
宝永元	1704	松前・蝦夷地納経記（空念）	奉行 蛎崎伝右衛門	夷嶋、利尻嶋	殿泊村	―		弁才天女		―	夷頭まくなし・いえのしけ	―		
元文4	1739	蝦夷商賈聞書	松前藩家老 松前内記の手船を派遣し交易	利尻									串貝（鮑）、煎海鼠、棒鱈	市立函館図書館所蔵
明和2	1765	大正14(1924) 岡田西川両家略歴	6代目岡田弥三右衛門（‖恵比須屋）が請け負う											
		大正末 利尻島誌（信田延之助）	恵比須屋（弥？）三右衛門請負う											
		昭和11(1936) 鴛泊村郷土読本（鴛泊小学校職員会）	岡田八十次・藤野四郎兵衛等	利尻漁場		明和2年に建てられた								
		昭和23(1948) 島ものがたり（時雨音羽）				利尻権現社ができる								
		昭和59(1984) 利尻島における神社信仰について「北海道開拓記念館調査報告第23号」（矢島睿）				利尻権現社の創設								
明和3	1766	安政3(1856) 東西蝦夷場所境目取調書上（松浦武四郎）	恵比須屋半兵衛、松前藩船禎祥丸を支配（夏船）	リイシリ										
天明2	1782	宗谷厳島神社創建												
天明5	1785	蝦夷国全図 三国通覧図説（林子平）所収		リイシリ									イリコ、干鮑	
天明6	1786		岡田勘七が請け負う											
天明7	1787	昭和63(1988) ラペルーズ世界周航記（小林忠雄訳）		ラングル山										
寛政～享和	1789～1804	リイシリ場所絵図		リイシリ	トノトマリ	―		2ヶ所（トマリ、オシトマリ）		運上屋（9間半×13間）	夷家十三軒	蔵八軒、雑小屋三軒、井戸小屋一軒		国立史料館所蔵
文化4	1807	文化露冠												
		西蝦夷地日記（田草川伝次郎）	請負人　岡田源兵衛 支配人　太右衛門	リイシリ	トノトマリ	―				運上家壱軒	夷家六軒（内四軒残＊露冠による焼払いのため）、＊去年調べ：三十七人、惣乙名テシウ＊ル、小使ヒヱタンケ	板蔵五軒 茅蔵三軒	鯡：五六千束、鱈子：五百束程、煎海鼠：拾本程（廿三貫目入）、干鮑：十五本程（数五千入）、昆布：百五六十石目、布海苔：十本程（廿貫目入）	田草川、近藤による共同調査
		リイシリ嶋図、蝦夷地御用留（近藤重蔵）		リイシリ嶋	トノトマリ	―		2ヶ所（トマリ、オシトマリ）		運上家	三拾四人（男18、女16）、乙名テシコングル、小使トウカンヒル、土産物取シヤケアイノ、クン子レク、ロエッテ、カアトンカ、シラテシ		鯡、鱈、ホッケ、煮海鼠、鮑、昆布、＊、布苔	
文化5	1808	会津藩士北方警備 利尻島詰 梶原平馬以下252名												
文化7	1810	明治20年調 藤野家履歴（根室藤野支店）	恵比須屋弥惣治と熟談し、4ヶ年間の約定で出稼し、鰊場3ヶ所を開き着業。											北大
		松平容衆、死没した会津藩士の墓石建立を命ずる（新潟で石を刻み、松前経由で各地へ）												

「昆布」初出

和暦	西暦	資料名（作者名）	各項記載内容											摘要
			管轄	島名・場所名	本泊	リイシリ権現（奥の院）	本泊頓宮	弁天社（厳島神社）	稲荷社	運上屋	アイヌ　＊表現は原本のママ	建物	産物など	
文政6	1823	明治20年調 藤野家履歴（根室藤野支店）	リシリレブンの両島漁場請負出願許可される。											北大
文政7	1824	大正4(1915) 鴛泊村沿革史				漁場請負人恵比須屋源兵衛が勧請	天保9年屯宮へ遷座	鴛泊厳島神社、文政13年の勧請						
		大正9(1919) 鴛泊村沿革史 昭和2(1927) 鴛泊村勢一班				文政年間に場所請負、恵比須屋岡田家の支配人源兵衛が創建								
		昭和11(1936) 鴛泊村郷土読本（鴛泊小学校職員会）	岡田八十次・藤野四郎兵衛等	利尻漁場		文政年間に恵比須屋の支配人で源兵衛が社を建て大山祇命を祀る								
		昭和43(1968) 句集記念明治百年（上遠野勝弥）				建立当時は密林にて昼尚暗く木下闇ときく								
		昭和59(1984) 利尻島における神社信仰について「北海道開拓記念館調査報告第23号」（矢島睿）				宗谷場所請負人恵比須屋源兵衛により勧請								
文政8 酉3月吉日	1825	石灯篭1対（阿部喜右衛門・住吉丸船頭清六）				境内に現存								
文政9 戌3月吉日	1826	手洗鉢（支配人阿部喜右衛門）				境内に現存								
文政10 亥正＊＊日	1827	石鳥居（支配人阿部喜右衛門・勢立丸＊＊）				境内に現存								倒壊
文政13 庚寅2月吉日	1830	石鳥居（阿部喜右衛門・住吉丸清六）						鴛泊厳島神社に現存						柱1対現存、傍に笠木あり
文政13	1830	厳島神社由緒「厳島神社縁起」（鴛泊村長 柾木久栄）						又十藤野四郎兵衛の勧請						
文政13年 5月	1830	古額2面 *大正末 利尻島誌（信太延之助）						鴛泊厳島神社に奉納						現存せず
天保2年 正月吉日	1831	半鐘（利伊尻又十惣番人中） *大正末 利尻島誌（信太延之助）												北見神社→大澤寺、戦時中に供出し現存せず
天保5	1834	利尻島測量製図（今井八九郎）		リイシリ嶋	トマリ					運上家				東京国立博物館所蔵
天保9年 戊戌3月吉日	1838	石鳥居（又十支配人阿部喜右衛門）					境内に現存							利尻大権現、完存
天保10＊年 8月吉日	1839	石灯篭1対（柏屋船頭中）					境内に現存							常燈
弘化3	1846	西蝦夷日誌　巻之七（松浦武四郎）			トノマ	鎮守リイシリ権現		弁天社	稲荷	運上屋	土人九軒三十七人	板蔵十余棟、茅蔵多し、備米蔵	鯡、鱈、鮑、煎海鼠、昆布、布のり、帆立貝、雑魚	
嘉永元	1848	日本回想記（ラナルド・マクドナルド）	ケモン（支配人阿部喜右衛門）、ケチンザ（番人筆頭嘉平治？）、タンガロ（番人多次郎？）		トートーマリ	―	礼拝場（小さな建物）				野塚、本泊			
安政3	1856	東西蝦夷場所境目取調書上（松浦武四郎）			トマリ	鎮守利意志利権現の社		弁天社一ケ所	稲荷社壱ケ所	運上屋	土人小家九軒三拾八人（男16・女22）	備蔵、漁番屋十四ヶ所		
		蝦夷行程記（阿部櫟斎）		リイシリ島高島	―	―		―		運上屋壱軒	人家九軒	漁小屋廿軒許	鯡、鱈、昆布、煮海鼠等	エトヒルカといへる鳥多し
安政3年	1856	古額 *大正末 利尻島誌（信太延之助）						鴛泊厳島神社に奉納						現存せず
安政4	1857	入北記（玉蟲左太夫）		リイシリ							土人家数八十四軒、人別三百九十五人　＊ソウヤ全体？			
安政年間		黄銅製吊り灯篭1対（リイシリ運上家柏屋船頭中）						鴛泊厳島神社に奉納						現存せず

和暦	西暦	資料名（作者名）	各項記載内容											摘要
			管轄	島名・場所名	本泊	リイシリ権現（奥の院）	本泊頓宮	弁天社（厳島神社）	稲荷社	運上屋	アイヌ　＊表現は原本のママ	建物	産物など	
		合戦図絵馬（支配人盛喜右衛門惣番人中）　吉本善京筆					利尻山神社神輿庫に現存							板彩色　240×90cm
安政年間		リイシリ嶌略図（秋田藩勘定方製図）		リイシリ嶌	トマリ	鳥居、拝殿、本殿		鳥居、弁天社	鳥居、稲荷社	運上家	十軒以上	番屋、蔵十棟以上、井戸、石段		利尻町立博物館所蔵
元治元年	1864	古額 *大正末 利尻島誌（信太延之助）						鴛泊厳島神社に奉納						現存せず
慶応4戊辰年6月吉日	1868	利意志理山大権現額（願主リイシリ運上家　世話人三上喜平治）				利尻山神社に現存？								善宝月巌書
明治8		日誌（佐藤正克） ＊利尻町史史料編掲載		利尻	トマリ	利尻大権現（奥の院と称す）の本院、石鳥居、石灯籠	利尻大権現掲額、燈籠・鳥居							7月14・15日が利尻大権現祭と記載
明治15		開拓使管下神社明細帳					創立年月不詳							道立文書館所蔵